

白寿の友

題字：佐藤重信



目次

特別養護老人ホーム 白寿荘東 『藤の花見』 『まき夏祭り』	2
特別養護老人ホーム 白寿荘東 『ドライブレポート』	3
巻デイサービスセンター 『扇子作り』 『藤の花見』	4
巻デイサービスセンター 『七夕』 『音楽療法』	5
白 寿 荘 西 『誰にも教えたくない2人だけの時間』 『巻農家直送!』	6
白 寿 荘 西 『藤、バラの花実』 『そら豆もぎを食する会』	7
白 寿 荘 西 『藤の花見』 『日常の1コマ』	8

第189号

平成22年7月30日発行



社会福祉法人
巻老人福祉協会

五月

藤棚の下は花の甘い香り漂う

白寿荘東
シヨートステイ



愛宕神社の藤を見
に行ってきました。
紫と白の花房に見
とれてしまいました。

六月

足湯でのんびり温泉気分



◀おまんじゅうも
食べてニッコリ



気持ちいいねえ

国上の酒呑童子の足湯
までドライブです。
お湯にしばし足を入れ、
体の中までポカポカです。



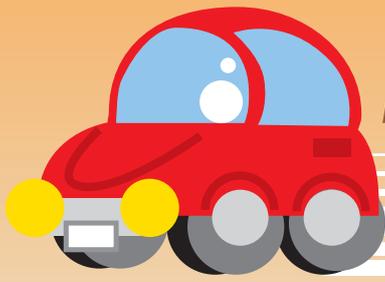
また足湯へ▶
来ようて

まき夏まつり祭

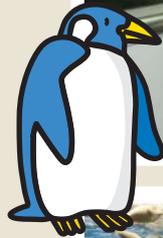
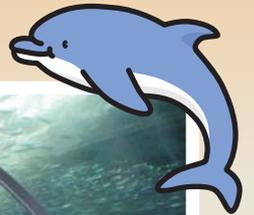


今年も恒例の巻夏祭り
が六月十二日、十三日と
行われ職員や子供会によ
る荘内民謡流しと夜は町
に外出し踊りを見学しま
した。利用者さんたちも
手拍子やりズムに合わせ
て手踊りで楽しんでい
る人もいました。ホールに
「アラヨイヨイヨイ」と
かけ声が響き、参加者は
笑顔で祭りを楽しんでい
ました。





ドライブレポート

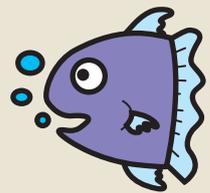


マリニピア日本海、イオンショッピングセンター、ふるさと村へドライブに行ってきました。水族館へ行かれた方達は、イルカショーを見たり、ドクターフィッシュを体験したりと、大変喜ばれていました。

ふるさと村へ行かれた方達は、珍しい物を見たり、おいしい物を食べて楽しまれました。

ショッピングセンターへ行かれた方達は、様々なお店がそろっている中で、あれこれ迷いながらも、お買い物を楽しまれました。

水族館



ショッピングセンター



ふるさと村



扇子作り

毎年恒例となっているデイサービスの作品作りに、今年度は利用者の方々や職員の環境意識？の高まりを受けて究極のエコロジー作品！である扇子を選びました。

完成した扇子は芸術性と実用性を両立した世界で一つだけの扇子となり、記録的猛暑となった今夏でしたが、扇子を使い元気良く乗り切ることができました。



藤の花見

ベストシーズンの愛宕神社へ花見
&ドライブに出掛けました。
天候に恵まれ、初夏の訪れを実感
できる行事となりました。



新職員紹介



介護員
山田 里美

六月一日より巻デイサービスセンターに勤務することになりました。
これから利用者の皆様と一緒に笑顔で楽しく毎日を過ごしていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

七 夕

七月七日にデイサービスでは七夕を行いました。
職員による手作りのレクリエーションは七夕のラブリー感を余すことなく再現しており、織り姫とひこ星の再会を凌ぐあつあつの時間を楽しむことができました。



音 楽 療 法

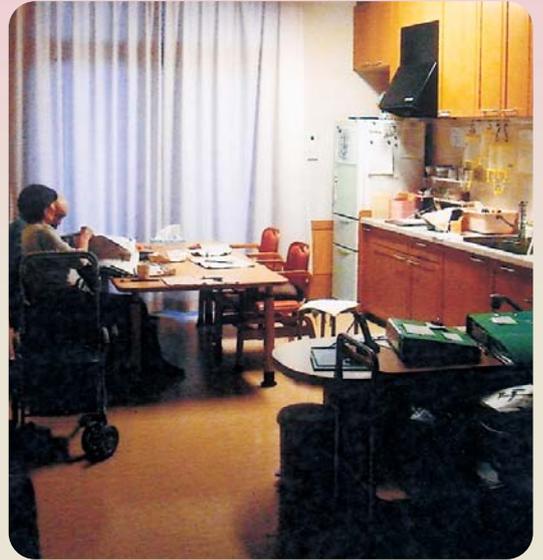
デイサービスでは、音楽療法時に亀倉先生とデイ職員が共同で考えた体操を、先生の演奏に合わせて利用者の方々と職員が一緒になって行っております。

季節にマッチした選曲となっており、更に生演奏を聴きながらの体操という非常に贅沢なプログラムとなっております。癒しと元気を体感できるため大好評のレクリエーションです。



誰にも教えたくない二人だけの時間

～この写真はある利用者Yさんの朝のまだ四時半の写真である。～



朝日が昇らない時間、「トントン」という音をたててYさんは奥さんの寝ている部屋のドアをたたくのが毎日の日課である。

がYさんの夫婦二人だけの時間なのだ。

会話は殆どない。だけれどこの夫婦には会話などいらなさと感じた。

二人がどのような人生を歩んできたかはわからない。

だが、物があふれているこの世の中、色々な目覚まし時計があるが、Yさんの「トントン」という音が奥さんにとって何より目覚まし音だと職員は感じた。

そして今日もYさんが新聞を読み、奥さんがページをめくるのを手伝い、二人は朝を迎えるのだ。

奥さんは、Yさん(夫)の「トントン」という音で目覚め一緒にフロアを散歩する。半周程散歩すると途中にある椅子に腰掛けて休憩をする。それを二、三回くり返し園内を散歩し、自分の丁目へ帰ってくる。そして、いつもの温かいコーヒーを職員にお願し、夫婦で飲みながら新聞を読むの

「個性七色、茶碗も七色」

このユニットは個性豊かな丁目である。個性あふれる利用者のご飯茶碗は、その方によって違う茶碗なのだ。色とりどりの利用者のもとへ色とりどりの茶碗が今日も食卓へ並んでいく。



新職員紹介



金子 亜佑美

白寿荘の職員として、一日でも早くしっかりと仕事を任せてもらえるようになりたいです。そのために、自分に足りないものを先輩方から学び、身につけ、頼れる社会人となれるよう、一生懸命頑張りたいと思います。よろしくお願ひします。

巻農家直送!

地場産食材を味わってもらおう。

白寿荘西では、六月の献立から巻農家直送の食材を使い食事の提供を行いました。

白寿荘西では、入所者・入居者に新鮮な地元食材を味わってもらいたい。という願いもあり、地元農家から取れたての食材を直送していただけるよう検討を重ねてきました。今回、地域の



今回納入農家の福田さんです。

方からの協力もあり、ついに実現!六月十二日に初めて地元農家の福田様から納入されました。味わった入所者様からは、「巻の物は一番美味しい」等、その日の食事は喜びの声に包まれました。

これからも季節に応じて旬の食材を地元農家の方から直送していただき提供していく予定です。六月の初回納入された食材

・大根

・キャベツ

・きゅうり

・玉ねぎ

これからは、にんじんやいんげん等数多くの食材が納入されます。



6・7丁目



熊倉 静香

四月から白寿荘西の六、七丁目に配属になりました。新人職員の熊倉静香です。
私の抱負は、利用者の方、ご家族にとって身近な存在であり信頼される介護職員になりたいです。
これからも毎日利用者の方に声かけをし、職員皆で協力し合い利用者の方が安心して楽しく過ごせるような介護をしていきたいと思っております。
今は利用者の方とコミュニケーションを図り楽しく過ごしています。まだまだ学びることがたくさんありますが、よろしくお願いします。

新職員紹介

8丁目



田中 里歩

こんにちは。昨年九月からシヨートステイの八丁目目で働いています田中里歩です。
毎日利用者さんとお話して、笑って、とても楽しく仕事をさせてもらっています。
一日一日を大切に!! また明日からも頑張ります。よろしくお祈いします。



藤の花・バラ園

寒かった冬が過ぎ、暖かい季節が到来しました。
そこで、たくさんのご利用者の方々に外出の機会を増やし、四季を感じて頂きたく、月に一・二回出掛けています。
五月は、新潟県指定天然記念物になっている燕の八王子の白藤を見に行ってきました。「とても広く大きな藤が咲いていました。とてもよかったですわー」と施設に帰ってきてからもご利用者の方々は、会話が弾んでおられました。
六月は、岩室のだいらの湯のすぐそばにあるバラ園へ行ってきました。そこでは、赤・ピンク・黄色・白と色々なバラが咲いており、

そこいらいらしたボランティアの方よりバラを頂いたり、似顔絵を書いて下さったりとご利用者の方々は「いい日になったわー、ありがとつ」と満足して頂きました。「次どこに連れて行ってくれるの?」とご利用者の方々は、楽しみが増えたようです。



この笑顔金じゃ買えない宝物
大橋フジ子



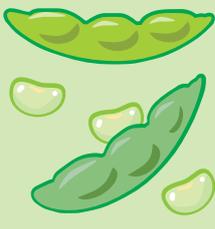
私たちにとって入浴とは、体の血行を良くしてくれたり、リフレッシュ出来たり、安眠効果がありとても大切なことです。ご利用者の方々に、もっと入浴が楽しみ、安らぎを感じて頂けるようにと入浴剤を使用するようになりました。
一番人気の入浴剤は緑色のヒノキの湯です。入浴のたびに一人一人好きな入浴剤を選んで頂いています。
「いい香りだねー、今日はこれにしてみようかしら」と選ぶ楽しさ、さまざまな香りを楽しめているようです。

みんなで七たがざいをしました!!



六・七丁目
そら豆もぎを食する会

六・七丁目では、そら豆もぎを食する会を行いました。
大きな豆をもちでそれをゆでて、ご利用者の方々は召しあがっていました。
もちろん味付けは塩味です。おいしかった!!との言葉がありました。
協力ユニットでもある、六、七丁目は利用者同士かわり合いながら過ごしています。





お花見



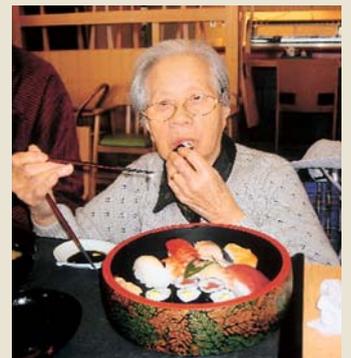
ケアハウスのみんなで、お花見ドライブへ。途中、寺泊のホテル飛鳥にて軽食を食べました。

外食はなかなか出来ない
ので、みなさん
大喜びでした。



散歩に行きながら、愛宕神社にある藤の花を見に行ってきました。

外に咲いている花を見て「何だろうねー」と楽しそうに話していたり、神社でもお参りしてきました。



新職員紹介



沢田 裕紀

今年、新採用でケアハウスに配属になった沢田裕紀です。

勤務し始めてすぐに利用者の方々とお花見ドライブに行く機会がありました。

勤務し始めてあまり日数が経たない私にとってこの

外出は利用者の方々の事をよく知る事の出来る大切な機会になりました。

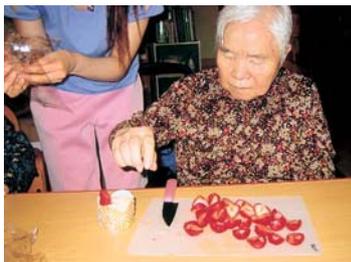
外出を楽しみにしている事や利用者の方がどのような食事を好んで食べるのか新しい発見が数多く見られました。

また、普段一緒に食事を食べる事が無いのですが外出先と一緒に食事を食べた事など貴重な体験をする事が出来たと思います。

なのでこれからも外出やイベントなどの機会をもっと大事にしていきたいと思っています。



日常の1コマ



ケアハウス各丁目の行事や日常を少し紹介します。

九丁目では、久しぶりにカードゲームをしました。

ジョーカーがこないよう必死にカードを選んできました。

十丁目では、新しく入居された方の歓迎会でケーキをみんなで作りました。

ケーキ作りは久しぶりで、みなさん楽しそうに作っていました。

